

令和3年度 東区支え合いのしくみづくり、地区別計画(ふれあいプラン)進捗状況一覧(2022年1月現在)

資料1

コミュニティ協議会	山の下	桃山	東山の下	下山	紫竹中央	木戸
支え合いのしくみづくり推進員 (敬称略)	細野 仁 鈴木 邦夫	眞柄 貴子 山口 加代子	若槻 勲	羽田 俊雄 渡辺 順子 平岩 昭紀	畑田 由紀子	星 雅彰 大野 誠一
構成員数	5名	12名	8名	24名	14名	10名
現在の取り組み状況と今後の見通し						
支え合いのしくみづくり会議 現在の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 住民への意識啓発(広報誌の発行) 	<ul style="list-style-type: none"> 「助けて会員・助ける会員」についてのHPを開設。会員数が少しずつだが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ウィズコロナの考えに沿って、当初計画の遂行をする。 新しい生活様式の徹底 移動支援の社会実験実施 令和3年度まで実験実施中。 見守り・生活支援は各町内の取り組みとして根付き始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会単位での助け合い活動の創出に向けて補助金等の情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 先行自治会の取り組みの現状(訪問活動、つどいの活動等)を伝え、他の自治会で実施を検討してもらっている。 コロナウイルスの影響で話が思うように進んでいない。 民生委員に年2回会議に出席してもらい、連携を取りやすくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「木戸地区支え合いガイドブック」の作成・配布。今年は2000部を作製し、班ごとの回覧や関係機関に配布。 東区社協のホームページに掲載 ②健康な体力づくり だんだんダンス 紫竹神社集会所、山木戸会館開催。参加者が近い場所での実施。 水中(プール)ウォーキングは中止 ③高齢者対象の食事 食育推進員から高齢者対象の健康レシピ等の講習を12月4日に実施。24名が参加。
今年度の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 住民への意識啓発(広報誌の全戸配布) 独居世帯等の「孤独死」防止に向けての情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 「助けて会員・助ける会員」のボランティア募集と登録 新たな担い手層の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援の社会実験の実施 デマンド型移動支援の社会実験の実施 10~3月に実施。 多面的な広報、運営方法の確立 高齢者の移動支援体制の継続的な実施につながるように、検討していく。 高齢者への情報発信(地域の茶の間情報交換会の開催・情報発信拠点としての地域の茶の間の活用等) 	<ul style="list-style-type: none"> 来年4月からの活動開始に向けて、要綱等の整備をし、人員確保に向けて動き出す予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 各町内で「要支援者名簿」を中心に高齢者・独居世帯の見守りを組・班単位でできるような土台作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①健康な体力づくり ボーリング事業実施 スタッフの発掘・育成を事業実施しながら取り組む。参加者を増やしていく。 ②高齢者対象の食事 食育推進員を講師に招いての事業実施
来年度の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 「孤独死」防止に向けての取り組み 除雪が大変な世帯は各町内会で見守れるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア会員を増やすこと コロナウイルス感染拡大状況により、会議開催が難航。今後状況を見ながら取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援の社会実験をより身近な実験にシフトし、イベント型(イベント送迎シャトル・買い物ツアー)から個々の支援(デマンド型移動支援)への移行実験。継続的な体制の構築に向けて検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 支え合い活動が軌道に乗ったら移動支援についても考えていく予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の活動状況・コロナウイルスの感染拡大状況によって検討 各自治会での温度感も異なるため、見守り訪問以外の取り組みも検討。 (多世代交流の場等)移動販売や除雪等の課題をできる範囲内で取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者対象の食事業業について、年2回開催予定だったが、今後食育推進員等と検討する。 笹団子づくり講習や木戸コミュニティセンターのサークルへの呼びかけ等を通して、情報提供を実施。つどいに参加する動機付けを図っていく。
地区別計画(ふれあいプラン)進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> コミ協による支え合い活動の具現化を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。

コミュニティ協議会別	牡丹山	大形	江南	中野山	南中野山	東中野山
支え合いのしくみづくり推進員(敬称略)	品田 伸男	森本 洋子 渡辺 政雄	畠山 富雄 近藤 良晴	山田 喜孝 上田 陽子 小林 義明	須田 恒夫	武笠 紀夫 白川 義則
構成員数	5名	8名	8名	17名	8名	8名
現在の取り組み状況と今後の見通し						
支え合いのしくみづくり会議 現在の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協内自治会へ対象を65歳以上へと拡大した困りごとアンケートを実施。 ・地域住民への情報提供のためのチラシを作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民への意識啓発(自治会へ説明会の実施)ただ、コロナの関係で思うように説明に伺うことができていない。 ・支え合いのしくみづくりについてのパンフレット作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「こうなんお助け隊」の登録会員説明会を実施し、7月1日から活動開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における高齢者の現状再確認を行う。 ・石山団地、新石山団地に対する見守り体制の再構築、75歳以上独居、高齢者のみの見守り訪問実施 ・外出機会の創出「フリースペースなかのやま」小学校、赤道脇公園等を活用したボランティア花活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプ南中野山の周知啓発 ・移送支援の必要性の調査(コロナ禍のため調整中) ・地域の茶の間の立ち上げ支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・東中野山支え合いの周知啓発のためのチラシ内容の検討 ・移送支援の検討(支え合いについての提供方法)
今年度の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を反映した取り組みを今後検討する。(思いやり応援隊の提供内容、関係機関と連携した取り組み等) ・地域住民への情報提供のため新しいチラシを全戸配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明未実施の自治会に支えあいのしくみづくりの説明会の開催 ・2層と役員との相談の場を設け計画を立てる ・支え合いの具体化について考えている自治会への支援(2自治会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を発行(不定期) ・10月頃から除雪の要望を聞きマッチングを進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新石山団地に対する高齢者安否確認 ・外出機会の創出と、多世代交流12/11 輪投げ大会1/22 いきいき広場なかのやま ・「フリースペースなかのやま」の課題検討 ・困ったときのガイドブック発行準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動拡充に向けたメンバーの協議体参加。 ・ヘルプ南中野山の周知啓発 ・移送支援の必要性の調査(コロナ禍のため調整中) ・地域の茶の間の立ち上げ支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ(保存版)を各世帯に配布予定。 ・高齢者への周知啓発
来年度の見通し	思いやり応援隊の活動拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会への説明会実施 ・コミ協理事会へ同席し、方向性を協議する。 ・説明会を実施した自治会の中で活動したい自治会へは2層が赴いていく。 ・パンフレットの作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の要支援者が10名であるが、普段の利用につながっていないところが多い。自然に支援の流れができるような仕掛け(広報誌の発行や、住民への協力依頼等)をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出機会の創出フレイルチェック、予防講座の開催 ・「お茶の間」開催情報の公開 ・困ったときのガイドブック発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶の間新設の支援。移動支援に関する情報の収集と実施の検討。 ・ヘルプ南中野山の活動実績の広報。 ・ヘルプ南中野山の協力会員向けに「情報共有」「家事支援を含めた支援内容の拡充」「会員のレベルアップ」等を目的とした研修を2~3回開催し、家事支援の体制づくりをしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長の負担を軽くするため、コミ協支え合い事務局の体制を整え、スムーズに支え合い活動ができるようにしたい。 ・支援利用者の増員 ・ボランティアへの説明会の実施
地区別計画(ふれあいプラン)進捗状況	課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。	課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。	課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。	課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。	フレイル予防事業の取り組みを関係機関の協力のもと、進めることができた。来年度以降も定期的な事業として開催予定。	課題に大きな変更はなし。今後も引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。